

福岡看護大学の学修成果の評価の方針(アセスメントポリシー)

理事会決定 (R3.7.6)

理事会決定 (R4.1.20)

理事会決定 (R5.3.20)

【学修成果の評価の方針 (アセスメント・ポリシー)】

看護教育の成果を可視化し、教育改善を恒常的に実施する目的で、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3つのポリシーに基づき、大学(機関)レベル、教育課程レベル、科目レベル(授業科目)の3段階で学修成果を評価する方法を定める。

学修成果の評価は、自己点検・評価委員会規則が定める内部質保証の一環として行われ、認証評価に反映する。

1. 大学(機関)レベル

アドミッション・ポリシーに基づいて入学した学生が、卒業までに身につけるべき資質・能力(ディプロマ・ポリシー)を満たし、看護職者として社会に貢献できる人材に成長できたかを可視化し、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの見直し及び教育の質保証に向けた改善を図る。

学生の進路(就職率、資格・免許を活かした専門領域へ就業率及び進学率、退学率等)から学修成果の達成状況、卒業後のキャリアと大学での学修の関連性について評価する。検証結果をもとに、教育改革・改善、学生・学修支援の改善等に活用する。

2. 教育課程レベル

卒業までに身につけるべき資質・能力(ディプロマ・ポリシー)を満たす人材を育成できたのか可視化する。

教育課程におけるディプロマ・ポリシー達成状況(単位取得状況・GPA)、資格・免許の取得状況から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況の評価する。また、学年ごとの単位取得率・成績分布の状況の評価する。

また、学士力における汎用的技能と態度・志向性(問題解決力、主体的学習力、コミュニケーション能力)等について、臨地実習での学修成果やジェネリックスキルテスト結果を基盤として評価する。

3. 科目(授業科目)レベル

ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく学修内容でシラバスが構成されているか評価し、学生アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況の評価する。

事項	アドミッション・ポリシーを満たす人材を受け入れたかの検証	カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているかの検証	ディプロマ・ポリシーを満たす人材になったかの検証						
大学（機関） レベル：教育活動全体	<input type="checkbox"/> 入学者選抜結果 志願状況 入試成績 定員充足率 <input type="checkbox"/> 学生生活実態調査 <input type="checkbox"/> PROG テスト成績	<input type="checkbox"/> 出席率、留年率、休学率、退学率 <input type="checkbox"/> 学生生活実態調査 <input type="checkbox"/> 実習施設・就職先等のステークホルダーからの意見聴取 <input type="checkbox"/> 課外活動状況 <input type="checkbox"/> FD の状況	<input type="checkbox"/> 学修成果の達成状況 <input type="checkbox"/> 学位取得状況 <input type="checkbox"/> 卒業率 <input type="checkbox"/> 全体の就職率、資格・免許を活かした専門領域へ就業率 <input type="checkbox"/> 卒業時アンケート <input type="checkbox"/> 卒業後アンケート <input type="checkbox"/> 看護師・保健師国家試験の合否結果						
教育課程 レベル：教育プログラム	<input type="checkbox"/> 入学前教育取り組み状況	<input type="checkbox"/> 学修成果の達成度 単位取得状況 GPA 分布状況 <input type="checkbox"/> PROG テスト成績 <input type="checkbox"/> 学生による授業評価 <input type="checkbox"/> コア・カリキュラムの実施状況	<input type="checkbox"/> 実習ポートフォリオ <input type="checkbox"/> 学修ポートフォリオ						
科目（授業科目） レベル		<input type="checkbox"/> シラバスで提示された授業科目の学修目標に対する評価 GPA 分布状況 学修ポートフォリオ 学生による授業評価	<u>DP:1</u> 人間関係論、看護倫理、看護分野別実習等	<u>DP:2</u> 人間の行動心理、人間の成長と発達、看護分野別実習、統合看護学実習等	<u>DP:3</u> well-being care 統合、看護分野別実習、統合看護学実習等	<u>DP:4</u> 看護分野別実習、統合看護学実習等	<u>DP:5</u> 地域在宅看護論実習、成人・高齢者看護論実習	<u>DP:6</u> 口腔機能援助論、看護分野別実習	<u>DP:7</u> 看護課題研究等
検証組織	教授会、研究科委員会（研究科運営委員会）、入試委員会、教務委員会、学生支援委員会、学生キャリア支援委員会、自己点検・評価委員会、FD 委員会、教育支援・教学 IR 室	教授会、研究科委員会（研究科運営委員会）教務委員会、学生支援委員会、学生キャリア支援委員会、自己点検・評価委員会、FD 委員会、教育支援・教学 IR 室	教授会、研究科委員会（研究科運営委員会）、教務委員会、学生支援委員会、学生キャリア支援委員会、自己点検・評価委員会、FD 委員会、教育支援・教学 IR 室						

福岡看護大学大学院（修士課程）の学修成果の評価の方針

（アセスメントポリシー）

【学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）】

大学院における看護教育の成果を可視化し、教育改善を恒常的に実施する目的で、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3つのポリシーに基づき、大学（機関）レベル、教育課程レベル、科目レベル（授業科目）の3段階で学修成果を評価する方法を定める。

学修成果の評価は、自己点検・評価委員会規則が定める内部質保証の一環として行われ、認証評価に反映する。

1. 大学（機関）レベル

アドミッション・ポリシーに基づいて入学した大学院学生が、教育目標に到達するために計画されたカリキュラムによって学修し、定められた単位を修得するとともに、学位論文の審査ならびに最終試験に合格し修士の学位を獲得できたかを可視化し、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの見直し及び教育の質保証に向けた改善を図る。

入学者の適切性については、入学者の志願状況や入試成績等をアドミッション・ポリシーに照らし合わせて評価するとともに、定員充足率を評価する。また、学位論文、学位授与数、学生の進路（就職率、専門領域へ就業率及び進学率）、学修の状況（休学率、退学率、TA雇用率、修了時アンケート等）から学修成果の達成状況、修了後のキャリアと大学での学修の関連性について評価する。検証結果をもとに、教育改革・改善、学生・学修支援の改善等に活用する。

2. 教育課程レベル

大学院修了までに身につけるべき資質・能力（ディプロマ・ポリシー）を満たす人材をカリキュラム（教育課程）・ポリシーに沿って育成できたのか可視化する。

教育課程におけるディプロマ・ポリシー達成状況（単位取得状況・GPA）、学修の状況（履修状況、研究進捗状況、研究倫理審査承認状況、中間発表、学位論文審査内容および結果）、修了時アンケート等から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況の評価する。

3. 科目（授業科目）レベル

ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく学修内容でシラバスが構成されているか評価し、単位認定状況、授業評価アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況の評価する。